



平成28年3月期 第2四半期決算短信〔米国基準〕(連結)

平成27年10月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス
コード番号 3591 URL <http://www.wacoalholdings.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塚本 能交

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画部長 (氏名) 宮城 晃

TEL 075-682-1010

四半期報告書提出予定日 平成27年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	105,715	9.9	9,676	15.3	10,646	5.2	7,482	14.6
27年3月期第2四半期	96,190	△2.4	8,395	△12.3	10,123	0.5	6,530	1.5

(注)四半期包括利益 28年3月期第2四半期 6,268百万円 (△50.5%) 27年3月期第2四半期 12,653百万円 (△9.8%)

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	53.12	52.97
27年3月期第2四半期	46.37	46.25

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	300,306	233,653	230,731	76.8	1,638.27
27年3月期	300,272	231,568	228,857	76.2	1,624.93

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	33.00	33.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	205,000	6.9	14,000	97.7	14,500	27.8	10,000	18.4	71.00

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	143,378,085 株	27年3月期	143,378,085 株
28年3月期2Q	2,539,496 株	27年3月期	2,537,276 株
28年3月期2Q	140,839,319 株	27年3月期2Q	140,838,532 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・経済環境の悪化により国内市場及び海外市場の景気が低迷し当社の業績が悪化するリスク
 - ・国内の百貨店、量販店及びその他一般小売店の業績不振や営業政策の変更によって当社が影響を受けるリスク
 - ・消費者の嗜好を的確に予測しそれに応える能力及び高品質な商品を提供する能力が期待される成果を生み出さないリスク
 - ・激しい市場競争により当社の販売シェアや利益率が低下するリスク
 - ・直営店事業ネットワークの拡大が売上や利益の拡大につながらないリスク
 - ・WEB販売の強化による売上増加が達成できないリスク
 - ・販売不振による在庫の増加が業績を悪化させるリスク
 - ・コスト削減が成功せず利益が減少するリスク
 - ・有能な人材確保ができず人材が不足するリスク
 - ・季節の天候不順の影響により業績が悪化するリスク
 - ・海外事業に関連して増加するリスク
 - ・買収及びその他第三者との戦略的提携等の成否に関するリスク
 - ・新市場の開拓における投資の回収に関するリスク
 - ・知的財産権に関連するリスク
 - ・情報システムに関するリスク
 - ・個人情報保護や当社の機密保持に関するリスク
 - ・内部統制に関連するリスク
 - ・有価証券に関連するリスク
 - ・自然災害、疫病の発生等に関するリスク
- これらの詳細については、当社の有価証券報告書をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書	P. 8
(3) 四半期連結包括損益計算書	P. 8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 9
(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 10
(セグメント情報等)	P. 10
(6) 販売の状況	P. 12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

① 当第2四半期の業績

当社グループでは3カ年中期経営計画(2013~2015年度)の最終年度を迎え、引き続き主力事業会社である株式会社ワコールを中心に、多様化する国内レディスインナー市場への対応による売上シェアの拡大と、レディスインナー事業以外の体制整備、また海外事業の積極的な展開による成長力・収益力強化に取り組みました。

これらの結果、当社グループの当第2四半期の連結業績は、国内事業については、消費税増税後の消費者の購買意欲が低迷するなか、高額品やインバウンドの需要が下支えし、売上は前年同期を上回りました。海外事業につきましても、円安により売上が嵩上げされ、全体の売上高は前年同期を大きく上回りました。利益面では、株式会社ワコールの売上の増加や円安による海外事業の利益上乘せ、その他子会社の収益改善により全体の利益は、前年同期を大きく上回りました。

●売上高	1,057億15百万円	(前年同期比	9.9%増)
●営業利益	96億76百万円	(前年同期比	15.3%増)
●税引前四半期純利益	106億46百万円	(前年同期比	5.2%増)
●当社株主に帰属する四半期純利益	74億82百万円	(前年同期比	14.6%増)

② オペレーティング・セグメントの営業概況

a. ワコール事業(国内)

国内事業においては、第1四半期は前年同期の大幅な落ち込みから回復しましたが、選別消費の傾向が強まり、夏場以降の売上伸び率は鈍化しました。

株式会社ワコールのワコールブランド事業本部につきましては、夏物の肌着、キャンペーンブラジャーが苦戦したものの、都心部の百貨店チャネルにおけるインバウンド需要の拡大と、主力アイテムのブラジャーや中高級価格帯ブランドが好調に推移し、事業本部全体の売上は前年同期を上回りました。

ウイングブランド事業本部につきましては、主力アイテムであるブラジャーは、春から夏にかけて苦戦しました。また、夏物の肌着は7月後半以降売上が回復し、ティーン向けブランドの展開拡大と併せて全体の売上を下支えしました。TVCFを投入した9月以降はブラジャーが復調し、事業本部全体の売上は前年同期並みとなりました。

小売事業本部につきましては、直営店「AMPHI(アンフィ)」では、入店客数が伸び悩んだものの、アパレルブランドやスタイリストとのコラボ商品が好調に推移したことで、一人当たりの平均購買単価がアップし、売上を牽引しました。また、アウトレットモールで展開する「ワコールファクトリーストア」も空港周辺エリアでのインバウンドの需要が売上に大きく寄与し、事業本部全体の売上は、前年同期を大きく上回りました。

ウエルネス事業部につきましては、スポーツコンディショニングウェア「CW-X(シーダブリューエックス)」は、トレッキングやゴルフ向けの売上が減少する中、秋の新製品発売も売上を牽引するに至らず、売上は前年同期を大きく下回りました。ビジネスパンプスや水着などは好調に推移しましたが、事業部全体の売上は前年同期を下回りました。

通信販売事業部につきましては、カタログ販売については、媒体投下部数の拡大とシーズンごとに投下時期を実需期に合わせたことで、売上は好調に推移し、前年同期を上回りました。また、ウェブストアについても、前年のサイト閉鎖の影響がなくなったことと、検索エンジン最適化により来訪客数が大幅に増え、好調に推移しました。その結果、事業部全体の売上は、前年同期を上回りました。

当期に三愛グループから事業譲受しました水着事業と下着直営事業を展開する国内子会社株式会社Ai(アイ)については、水着事業は、前半好調に推移したものの夏場の天候不順の影響を受け、売上計画を下回りました。併せて下着事業も売上計画を大幅に下回りました。

以上の結果、主力事業会社ワコールの売上の増加と株式会社A iの売上が新たに加わったことにより、ワコール事業（国内）セグメント全体の売上高は、前年同期を上回りました。利益面につきましても、株式会社ワコールの売上の増加と売上利益率の改善などが寄与し、営業利益は前年同期を大きく上回りました。

●売上高	625億26百万円	(前年同期比	9.8%増)
●営業利益	59億86百万円	(前年同期比	15.9%増)

b. ワコール事業（海外）

米国ワコールにつきましては、売上面では、インターネット販売および周辺国、欧州向け輸出が好調に推移したものの米国内における主力のワコールブランドが前年同期並みで推移した結果、全体の売上は、現地通貨ベースで前年同期並みとなりましたが、邦貨換算ベースでは前年同期を大きく上回りました。利益面では、30周年記念PR費の計上による販管費などの増加により、現地通貨ベースでは前年同期を大幅に下回りましたが、邦貨換算ベースでは前年同期を上回りました。

ワコールヨーロッパにつきましては、売上面では、英国については、ワコールブランド商品展開の拡大などで順調に推移しました。また、米国やオーストラリアなどの地域も伸長しました。しかし、ユーロ圏では、欧州における不安定な政治・経済状況の影響が消費意欲を低下させており、特にフランスにおいては売上が大幅に減少しました。これらによって、全体の売上は現地通貨ベースでは前年同期を下回ったものの、邦貨換算ベースでは前年同期を上回りました。利益面では、売上の減少とドル高による仕入れ原価が上昇したことなどから、営業利益は前年同期を大きく下回りました。

中国ワコールにつきましては、景気の減速感が強まっている中、売上面では、中間層向けブランド「LA ROSABELLE（ラ・ロッサベル）」については、順調に推移しているものの、店舗採算を重視して出店数を抑制しました。一方、主力のワコールブランドは婦人節や春節における販促キャンペーンなどが奏功し、売上増加に寄与しました。併せてインターネット販売やアウトレット販売なども順調に推移し、全体の売上は前年同期を大きく上回りました。利益面では、現地材料調達が増大したことや、粗利益率の高いチャネルでの販売構成比が高まったことから売上利益が増加し、営業利益は前年同期を大きく上回りました。

以上の結果、ワコール事業（海外）セグメント全体の売上高は、前年同期を上回りましたが、営業利益は前年同期を下回りました。

●売上高	277億67百万円	(前年同期比	13.5%増)
●営業利益	32億42百万円	(前年同期比	2.1%減)

c. ピーチ・ジョン事業

主力の通信販売につきましては、サイト改編などにより購買率は上がりましたが、訪問者数が伸びなかったことに加え、セール期間を短縮したことも影響し、前年同期を大きく下回りました。国内直営店は、インバウンド需要も寄与し、前年同期を大きく上回りました。外部サイトについても、構成比は低いものの好調に推移しました。また、海外事業につきましては、香港は苦戦しましたが、中国では不採算店舗の撤退を行い、インターネット販売へ移行したことにより売上が拡大し、円安の影響もあり、前年同期を上回りました。以上の結果、ピーチ・ジョン事業セグメント全体の売上高は、前年同期並みとなりました。利益面では、価格設定の見直しやセールの抑制による売上利益の改善、PR費・制作費などの削減に努めたことから、前年同期の営業損失から大きく改善しました。

●売上高	58億00百万円	(前年同期比	0.7%減)
●営業利益	3億33百万円	(前年同期は営業損失	1億56百万円)

d. その他

株式会社ルシアンにつきましては、主力のインナー事業をはじめアパレル事業も前年を下回った結果、ルシアン全体の売上は前年同期を下回りました。また、利益面についても円安の影響で売上利益率が悪化し、大幅な営業損失となりました。

株式会社七彩につきましては、レンタル事業については前年同期並みでしたが、百貨店やアパレルブランドからの大型受注を受けて工事業が前年同期を大きく上回り、物販事業も工事受注に伴う什器納品が拡大したことで、全体の売上は前年同期を大きく上回りました。利益面については、売上の増加により前年同期から大きく改善しました。

これらの結果、その他セグメント全体の売上高、営業利益ともに前年同期を上回りました。

●売上高	9億22百万円	(前年同期比	7.8%増)
●営業利益	1億15百万円	(前年同期比	53.3%増)

(2) 連結財政状態に関する説明

①資産、負債、株主資本等の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、売掛債権やたな卸資産の増加などにより、前連結会計年度末に比して34百万円増加し、3,003億6百万円となりました。

負債の部は、その他の固定負債が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して20億51百万円減少し、666億53百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加などにより、前連結会計年度末に比して18億74百万円増加し、2,307億31百万円となりました。

以上の結果により、当第2四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して0.6%増加し、76.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して19億48百万円減少し、364億62百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益76億81百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、77億81百万円の収入(前年同期に比し23億20百万円の収入減)となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得やその他の投資活動などにより、37億27百万円の支出(前年同期に比し25億66百万円の支出増)となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済や配当金の支払などにより、60億55百万円の支出(前年同期に比し3億72百万円の支出減)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結予想数値につきましては、平成27年5月11日発表時から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)	増減金額
(資産の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動資産			
現金及び現金同等物	38,410	36,462	△ 1,948
定期預金	2,687	2,546	△ 141
有価証券	2,387	1,846	△ 541
売掛債権	26,544	28,394	1,850
返品調整引当金及び貸倒引当金	△ 2,409	△ 2,886	△ 477
たな卸資産	42,893	44,523	1,630
繰延税金資産	5,488	4,477	△ 1,011
その他の流動資産	4,264	4,548	284
流動資産合計	120,264	119,910	△ 354
II. 有形固定資産			
土地	22,009	22,003	△ 6
建物及び構築物	64,038	64,354	316
機械装置及び工具器具備品等	16,760	17,266	506
建設仮勘定	923	2,423	1,500
	103,730	106,046	2,316
減価償却累計額	△ 54,542	△ 55,708	△ 1,166
有形固定資産合計	49,188	50,338	1,150
III. その他の資産			
関連会社投資	22,052	21,492	△ 560
投資	59,963	58,228	△ 1,735
のれん	18,750	19,057	307
その他の無形固定資産	12,739	12,930	191
前払年金費用	10,577	11,260	683
繰延税金資産	982	972	△ 10
その他	5,757	6,119	362
その他の資産合計	130,820	130,058	△ 762
資産合計	300,272	300,306	34

科 目	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)	増減金額
(負債の部)	百万円	百万円	百万円
I. 流動負債			
短期借入金	10,038	12,877	2,839
買掛債務			
支払手形	1,031	1,578	547
買掛金	11,346	12,322	976
未払金	6,686	4,259	△ 2,427
	19,063	18,159	△ 904
未払給料及び賞与	6,936	6,989	53
未払税金	2,064	1,547	△ 517
その他の流動負債	4,201	5,361	1,160
流動負債合計	42,302	44,933	2,631
II. 固定負債			
退職給付に係る負債	1,680	1,422	△ 258
繰延税金負債	18,796	18,309	△ 487
その他の固定負債	5,926	1,989	△ 3,937
固定負債合計	26,402	21,720	△ 4,682
負債合計	68,704	66,653	△ 2,051
(資本の部)			
I. 資本金	13,260	13,260	—
II. 資本剰余金	29,642	29,674	32
III. 利益剰余金	155,264	158,521	3,257
IV. その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	10,831	11,001	170
未実現有価証券評価損益	20,821	19,559	△ 1,262
年金債務調整勘定	1,934	1,614	△ 320
V. 自己株式	△ 2,895	△ 2,898	△ 3
株主資本合計	228,857	230,731	1,874
VI. 非支配持分	2,711	2,922	211
資本合計	231,568	233,653	2,085
負債及び資本合計	300,272	300,306	34

(2) 四半期連結損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		増減金額
	百万円	%	百万円	%	
I. 売上高	96,190	100.0	105,715	100.0	9,525
II. 営業費用					
売上原価	44,359	46.1	49,031	46.4	4,672
販売費及び一般管理費	43,436	45.2	47,008	44.4	3,572
営業費用合計	87,795	91.3	96,039	90.8	8,244
営業利益	8,395	8.7	9,676	9.2	1,281
III. その他の収益・費用(△)					
受取利息	57		76		19
支払利息	△ 51		△ 39		12
受取配当金	512		599		87
有価証券・投資売却 及び交換損益(純額)	1		90		89
有価証券・投資評価損	△ 0		△ 0		0
絵画売却益	1,059		-		△ 1,059
その他の損益(純額)	150		244		94
その他の収益・費用合計	1,728	1.8	970	0.9	△ 758
税引前四半期純利益	10,123	10.5	10,646	10.1	523
法人税等	3,826	4.0	3,655	3.5	△ 171
持分法による投資損益調整前 四半期純利益	6,297	6.5	6,991	6.6	694
持分法による投資損益	414	0.5	690	0.7	276
四半期純利益	6,711	7.0	7,681	7.3	970
非支配持分帰属損益	△ 181	△ 0.2	△ 199	△ 0.2	△ 18
当社株主に帰属する四半期純利益	6,530	6.8	7,482	7.1	952

(3) 四半期連結包括損益計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)		増減金額
	百万円		百万円		
I. 四半期純利益	6,711		7,681		970
II. その他の包括損益					
— 税効果調整後					
為替換算調整勘定	3,324		180		△ 3,144
未実現有価証券評価損益	2,711		△ 1,273		△ 3,984
年金債務調整勘定	△ 93		△ 320		△ 227
その他の包括損益 合計	5,942		△ 1,413		△ 7,355
四半期包括損益	12,653		6,268		△ 6,385
非支配持分帰属四半期包括損益	△ 191		△ 198		△ 7
当社株主に帰属する四半期包括損益	12,462		6,070		△ 6,392

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	前第2四半期連結累計期間	当第2四半期連結累計期間
	(自 平成26年 4月 1日 至 平成26年 9月30日)	(自 平成27年 4月 1日 至 平成27年 9月30日)
	百万円	百万円
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	6,711	7,681
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	2,595	2,353
(2)返品調整引当金及び貸倒引当金(純額)	314	477
(3)繰延税金	276	1,250
(4)固定資産除売却損益(純額)	△ 7	48
(5)絵画売却益	△ 1,059	—
(6)有価証券・投資売却及び交換損益(純額)	△ 1	△ 90
(7)有価証券・投資評価損	0	0
(8)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	174	46
(9)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少(△増加)	695	△ 1,745
たな卸資産の増加	△ 1,181	△ 628
その他の流動資産等の増加	△ 395	△ 253
買掛債務の減少	△ 178	△ 991
退職給付に係る負債の減少	△ 788	△ 1,415
その他の負債等の増加	2,747	978
(10)その他	198	70
営業活動によるキャッシュ・フロー	10,101	7,781
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 1,873	△ 1,739
2. 定期預金の減少額	1,656	1,887
3. 有価証券の売却及び償還収入	107	1,004
4. 有価証券の取得	—	△ 534
5. 絵画の売却収入	1,275	—
6. 有形固定資産の売却収入	184	54
7. 有形固定資産の取得	△ 1,442	△ 2,628
8. 無形固定資産の取得	△ 641	△ 767
9. 投資の売却収入	14	237
10. 投資の取得	△ 457	△ 255
11. 子会社株式の追加取得	△ 1	—
12. その他	17	△ 986
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,161	△ 3,727
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	△ 1,085	2,961
2. 長期債務の返済	△ 505	△ 4,582
3. 自己株式の取得	△ 0	△ 3
4. 当社株主への配当金支払額	△ 4,648	△ 4,225
5. 非支配持分への配当金支払額	△ 189	△ 206
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 6,427	△ 6,055
IV. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	559	53
V. 現金及び現金同等物の増減額	3,072	△ 1,948
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	30,658	38,410
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	33,730	36,462

補足情報

現金支払額		
利息	53	41
法人税等	2,020	3,157
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	478	475

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

① オペレーティング・セグメント情報

前第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	56,951	24,470	5,843	8,926	96,190	—	96,190
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	979	4,244	316	2,490	8,029	△ 8,029	—
計	57,930	28,714	6,159	11,416	104,219	△ 8,029	96,190
営業利益(△損失)	5,166	3,310	△ 156	75	8,395	—	8,395

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	ワコール事業 (国内)	ワコール事業 (海外)	ピーチ・ジョン 事業	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	62,526	27,767	5,800	9,622	105,715	—	105,715
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	760	4,532	377	2,923	8,592	△ 8,592	—
計	63,286	32,299	6,177	12,545	114,307	△ 8,592	105,715
営業利益	5,986	3,242	333	115	9,676	—	9,676

(注) 各事業の主な製品

ワコール事業(国内)	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レグニット他
ワコール事業(海外)	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、スポーツウェア、レグニット他
ピーチ・ジョン事業	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品他
その他	… インナーウェア(ファンデーション・ランジェリー・ナイトウェア・リトルインナー)、アウターウェア、その他繊維関連商品、マキーン人形、店舗設計・施工他

② 地域別情報

前第2四半期連結累計期間(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	71,537	8,015	16,638	96,190
構成比	74.4%	8.3%	17.3%	100.0%
営業利益	5,055	1,039	2,301	8,395

当第2四半期連結累計期間(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	77,768	9,271	18,676	105,715
構成比	73.5%	8.8%	17.7%	100.0%
営業利益	6,372	1,152	2,152	9,676

(注) 1. 国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア・オセアニア: 東アジア、東南アジア及び西アジア諸国、オーストラリア

欧米: 北米及びヨーロッパ諸国

3. 売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第2四半期 自平成26年4月1日 至平成26年9月30日		当第2四半期 自平成27年4月1日 至平成27年9月30日		増減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
インナーウェア	ファンデーション ・ランジェリー	72,852	75.7	78,796	74.5	5,944	8.2
	ナイトウェア	4,590	4.8	4,725	4.5	135	2.9
	リトルインナー	761	0.8	743	0.7	△18	△2.4
	計	78,203	81.3	84,264	79.7	6,061	7.8
アウターウェア ・スポーツウェア等		7,900	8.2	10,841	10.3	2,941	37.2
レッグニット		1,259	1.3	1,152	1.1	△107	△8.5
その他繊維製品 及び関連製品		4,038	4.2	3,744	3.5	△294	△7.3
その他		4,790	5.0	5,714	5.4	924	19.3
合計		96,190	100.0	105,715	100.0	9,525	9.9